

# 四半期報告書

(第61期第3四半期)

自 平成24年3月21日

至 平成24年6月20日

マルサンアイ株式会社

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	3
第2 【事業の状況】 .....	4
1 【事業等のリスク】 .....	4
2 【経営上の重要な契約等】 .....	4
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの分析】 .....	4
第3 【提出会社の状況】 .....	7
1 【株式等の状況】 .....	7
2 【役員の状況】 .....	8
第4 【経理の状況】 .....	9
1 【四半期連結財務諸表】 .....	10
2 【その他】 .....	17
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	18

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成24年7月30日

**【四半期会計期間】** 第61期第3四半期(自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日)

**【会社名】** マルサンアイ株式会社

**【英訳名】** MARUSAN-AI CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役会長 青木春雄  
代表取締役社長 伊藤明德

**【本店の所在の場所】** 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

**【電話番号】** 0564-27-3700

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理統括部長 渡辺邦康

**【最寄りの連絡場所】** 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

**【電話番号】** 0564-27-3700

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理統括部長 渡辺邦康

**【縦覧に供する場所】** 株式会社名古屋証券取引所  
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第60期 第3四半期 連結累計期間	第61期 第3四半期 連結累計期間	第60期
会計期間	自 平成22年9月21日 至 平成23年6月20日	自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日	自 平成22年9月21日 至 平成23年9月20日
売上高 (千円)	15,141,067	15,500,783	20,286,372
経常利益 (千円)	238,969	357,942	399,636
四半期(当期)純利益 (千円)	69,330	168,837	119,509
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	49,915	157,088	114,808
純資産額 (千円)	2,574,456	2,841,354	2,743,678
総資産額 (千円)	15,516,038	15,443,508	15,730,721
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	6.14	14.71	10.59
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	16.5	18.3	17.4

回次	第60期 第3四半期 連結会計期間	第61期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年3月21日 至 平成23年6月20日	自 平成24年3月21日 至 平成24年6月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.44	1.73

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第60期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、次のとおりであります。

当社は、中国におけるみそや豆乳の販売強化を目的に、「丸三愛食品商貿（上海）有限公司」を子会社として設立いたしました。当該有限公司は、中国の食品販売会社である「上海心征商貿有限公司」と当社との共同出資による合弁会社であります。

平成24年3月23日に「丸三愛食品商貿（上海）有限公司」の資本金5,400,000人民元の内、出資比率86%に当たる4,644,000人民元の払い込みを完了し、平成24年3月26日に設立が完了いたしました。

この結果、平成24年6月20日現在では、当社グループは、当社、子会社3社及び関連会社1社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（平成23年9月21日～平成24年6月20日）におけるわが国経済は、東日本大震災による影響から回復傾向にあるものの、電力問題によるエネルギーコストの上昇、欧州諸国の財政危機による世界経済の減速や長期化する円高など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、少子高齢化や景気の先行き不安による節約志向が続いており、市場環境は厳しい状況にあります。

みそ業界におきましては、デフレによる低価格志向を背景に販売単価の下落、出荷数量の減少傾向が続くなど、厳しい市場環境で推移しております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景に市場は堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、155億円（前年同期比2.4%増）、営業利益は、3億34百万円（前年同期比5.5%減）、経常利益は、3億57百万円（前年同期比49.8%増）、四半期純利益は、1億68百万円（前年同期比143.5%増）となりました。

#### みそ事業

みそ事業全体が伸び悩んだこと、また、前年同期に震災後の出荷が一時的に増加したこともあり、売上高は、43億43百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

#### a. 生みそ

みそ市場全体が漸減傾向にある中、出荷数量の減少に加えて低価格志向により販売単価が下落したため、売上高は、32億97百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

#### b. 調理みそ

シーズン序盤の気候が暖かく、また、野菜の高騰もあり、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、7億16百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

#### c. 即席みそ

競合他社との販売の激化により、売上高は、3億30百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

## 豆乳飲料事業

豆乳が堅調に推移し、売上高は、104億19百万円（前年同期比7.8%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資損失4百万円を営業外費用に計上しております。

### a. 豆乳

メディアによる露出や健康志向の高まりを背景に堅調に推移し、売上高は、81億71百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

### b. 飲料

果汁飲料、お茶及び受託製造品の出荷が減少したため、売上高は、22億47百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

## その他食品事業

シーズン序盤の気候が暖かく、また、野菜の高騰もあり、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、7億38百万円（前年同期比13.6%減）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産

流動資産は、75億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億68百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、現金及び預金の増加1億65百万円等があったものの、受取手形及び売掛金の減少1億32百万円、その他に含められております未収入金の減少1億65百万円等によるものであります。

固定資産は、78億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億18百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、建物及び構築物の減少1億22百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、154億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億87百万円減少いたしました。

### 負債

流動負債は、80億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億17百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、未払金の増加3億23百万円等があったものの、1年内返済予定の長期借入金の減少1億98百万円、賞与引当金の減少1億48百万円、支払手形及び買掛金の減少1億22百万円等によるものであります。

固定負債は、45億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億67百万円減少いたしました。減少の主な要因といたしましては、長期借入金の減少1億円、退職給付引当金の減少52百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、126億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億84百万円減少いたしました。

### 純資産

純資産合計は、28億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加99百万円等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、52百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、前連結会計年度末には計画しておりませんでした。当第3四半期連結累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設の計画は、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定	完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
マル サン アイ 株式 会社	本社・本社 工場（愛知 県岡崎市）	みそ事業	みそ製品 工場統合 に伴う改 修	663,185		自己資金及び借 入金	平成24年 8月	平成25年 3月	

(注) 金額には消費税等を含んでおりません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月20日)	提出日現在発行数(株) (平成24年7月30日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年3月21日～ 平成24年6月20日		11,480,880		865,444		612,520

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

### 【発行済株式】

平成24年6月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,458,000	11,458	同上
単元未満株式	普通株式 21,880		同上
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,458	

(注) 1 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式651株が含まれております。

2 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年3月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

### 【自己株式等】

平成24年6月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地	1,000		1,000	0.01
計		1,000		1,000	0.01

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は、1,651株であります。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年3月21日から平成24年6月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年9月21日から平成24年6月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,763,461	1,929,319
受取手形及び売掛金	3,212,772	3,080,680
商品及び製品	608,586	555,042
仕掛品	508,043	513,070
原材料及び貯蔵品	492,892	487,836
その他	1,180,473	1,029,929
貸倒引当金	9,991	8,367
流動資産合計	7,756,236	7,587,511
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,789,530	2,666,890
機械装置及び運搬具（純額）	1,820,921	1,828,405
土地	2,642,135	2,642,135
その他（純額）	68,569	81,318
有形固定資産合計	7,321,157	7,218,750
無形固定資産	93,768	83,750
投資その他の資産		
投資有価証券	440,564	429,571
その他	136,388	141,260
貸倒引当金	17,394	17,334
投資その他の資産合計	559,558	553,496
固定資産合計	7,974,484	7,855,997
資産合計	15,730,721	15,443,508

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,548,325	2,426,281
1年内返済予定の長期借入金	2,491,356	2,293,119
未払法人税等	119,379	104,335
賞与引当金	315,107	166,620
未払金	2,120,508	2,444,203
その他	668,398	610,711
流動負債合計	8,263,076	8,045,270
固定負債		
長期借入金	2,802,157	2,702,117
退職給付引当金	1,476,417	1,423,735
資産除去債務	191,092	193,347
その他	254,299	237,683
固定負債合計	4,723,967	4,556,883
負債合計	12,987,043	12,602,154
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,344,121	1,444,076
自己株式	184	675
株主資本合計	2,844,420	2,943,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,280	16,237
為替換算調整勘定	96,035	108,514
その他の包括利益累計額合計	112,316	124,752
少数株主持分	11,573	22,223
純資産合計	2,743,678	2,841,354
負債純資産合計	15,730,721	15,443,508

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年6月20日)
売上高	15,141,067	15,500,783
売上原価	10,957,929	11,249,757
売上総利益	4,183,137	4,251,026
販売費及び一般管理費	3,828,995	3,916,457
営業利益	354,142	334,568
営業外収益		
受取利息	911	1,040
技術指導料	945	10,290
不動産賃貸収入	17,595	17,412
デリバティブ評価益	-	20,310
為替差益	-	11,224
保険解約返戻金	9,732	-
その他	17,629	21,850
営業外収益合計	46,814	82,128
営業外費用		
支払利息	48,069	40,712
持分法による投資損失	27,977	4,752
デリバティブ評価損	47,164	-
為替差損	17,081	-
債権売却損	11,548	12,145
その他	10,145	1,143
営業外費用合計	161,987	58,753
経常利益	238,969	357,942
特別損失		
固定資産売却損	616	6,351
固定資産除却損	10,175	17,541
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,408	-
投資有価証券評価損	798	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,210
特別損失合計	87,000	25,103
税金等調整前四半期純利益	151,969	332,839
法人税等	80,591	163,314
少数株主損益調整前四半期純利益	71,377	169,524
少数株主利益	2,047	687
四半期純利益	69,330	168,837

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71,377	169,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,932	42
為替換算調整勘定	23,394	12,478
その他の包括利益合計	21,462	12,436
四半期包括利益	49,915	157,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,868	156,400
少数株主に係る四半期包括利益	2,047	687

**【連結の範囲の重要な変更】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)
当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した丸三愛食品商貿(上海)有限公司を連結の範囲に含めております。

**【会計方針の変更等】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)
(有形固定資産の減価償却方法の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第3四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後取得の有形固定資産の減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。この変更による損益に与える影響は軽微であります。

**【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

**【追加情報】**

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費含む）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年9月21日 至 平成23年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)
減価償却費 567,411千円	減価償却費 580,464千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年9月21日 至 平成23年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年12月9日 定時株主総会	普通株式	68,092	6.00	平成22年9月20日	平成22年12月10日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年9月21日 至 平成24年6月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月8日 定時株主総会	普通株式	68,882	6.00	平成23年9月20日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年9月21日 至 平成23年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,617,842	9,669,060	854,163	15,141,067	15,141,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,617,842	9,669,060	854,163	15,141,067	15,141,067
セグメント利益	611,351	2,093,264	216,911	2,921,527	2,921,527

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,921,527
全社費用(注)	2,567,385
四半期連結損益計算書の営業利益	354,142

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年9月21日 至平成24年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,343,485	10,419,187	738,110	15,500,783	15,500,783
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,343,485	10,419,187	738,110	15,500,783	15,500,783
セグメント利益	592,935	2,125,114	176,870	2,894,920	2,894,920

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,894,920
全社費用(注)	2,560,351
四半期連結損益計算書の営業利益	334,568

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月21日 至平成23年6月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成24年6月20日)
1株当たり四半期純利益金額	6円14銭	14円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	69,330	168,837
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	69,330	168,837
普通株式の期中平均株式数(株)	11,289,884	11,479,889

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月30日

マルサンアイ株式会社  
取締役会 御中

## 三優監査法人

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 杉田 純

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 林 寛 尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成23年9月21日から平成24年9月20日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年3月21日から平成24年6月20日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成23年9月21日から平成24年6月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成24年6月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。